

＜美和中校区小中一貫学校教育目標＞ 地域の未来を切り拓く児童生徒の育成

＜めざす児童像＞

○夢や未来を語ることができる児童生徒

○仲間と共に課題解決に取り組む児童生徒

○学び続け、創り出すことに喜びを見出すことができる児童生徒

＜チャレンジ目標＞

美和東小学校 チャレンジ目標

美和東小ABC



あたりまえのことを

tarimae



びっくりするくらい

ikkuri



ちゃんとやる

hanto



マロリン

姿勢を正すことの大切さ

校長 東 原 孝

今年度のチャレンジ目標は、上記にあるように、「美和東小ABC あたりまえのことを、びっくりするくらい、ちゃんとやる」です。トイレのスリッパを揃えること、時間を守ること、廊下の歩き方など、子どもたちが自分たちで改善しようと取り組み、全校で意識し始めて、ここ数ヶ月でかなり改善されてきたように思います。

しかし、そんななか、以前来校されたお客様から、児童の「姿勢」について指摘されたことがありました。授業を受ける時の子どもたちの姿勢の悪さが気になったということです。このご指摘は後日、教職員に伝え、改善するよう求めました。

正しい姿勢を意識するための号令として本校では、「姿勢！」と発声し、意識づけています。一般に使われる集団行動様式の「気をつけ！」と同じ意味です。クラスによっては授業中、「姿勢！」という教師の言葉に反応し、緩んでいる子どもたちの姿勢が一瞬にして「シャキッ」となる風景を最近よく見かけるようになりました。

姿勢がよくなるとどんなメリットがあるのでしょうか。テレビでスポーツ中継を観ていると、「これは絶対見逃せない！」というシーンがよくあります。例えば、サッカーのPK戦の場面や、野球での一打逆転サヨナラホームランの打席シーンなどを思い出してみてください。それまで寝転がって観ていたのに、そんなシーンになると無意識に起き上がり、身を乗り出して画面に集中する……。これは、人間の本能的行動で、集中して多くの情報を得なければならない状況が起きたとき、人は必ず自然と重力と正対した姿勢、つまり、正しい姿勢をとるということです。

本校では授業中の正しい姿勢を「ペタ・ピン・グー」と表現しています。「ペタ」は足を床にペタとくっつけ、「ピン」は背筋をピンと伸ばし、「グー」は机とおなかを、握りこぶし1個分あけることです。そうすると正しい姿勢になり、授業中の先生の話も集中して聞けるようになるのです。悪い姿勢でいくら授業を受けても、身につくものは半分以上になってしまうのです。

ご家庭でも、姿勢を意識した声かけをしていただければと思います。



1年間の成長を見ていただきました



【二分の一成入式 「10才のありがとう」】



2月16日の参観日にはたくさんの皆様にご参観いただき、ありがとうございました。

どの学年も工夫した内容で、児童のこの1年間の成長をそれぞれ感じていただけたのではないかと思います。

その中で4年生は「二分の一成入式」を行いました。4月からは高学年となる4年生。これまで育ててくださった家族への感謝や将来の抱負を堂々と発表する姿は、これまで以上に頼もしく感じられたのではないのでしょうか。

縦割り班で協力して



2月12日、全校で「縄跳び大会」を実施しました。普段、掃除の時間に一緒に活動する縦割り班ごとに、「へへのへのもへ字」や長縄の種目で競いました。上学年が下学年の児童に優しく声をかける姿が見られました。

元気に入學してきてね



2月8日、4月に入学する新1年生の一日入学を行いました。4月から最上級生になる5年生がお世話をしてくれました。やさしいお兄さんお姉さんたちに、新1年生も安心してくれたことでしょう。

5, 6年生スキー教室 ～めがひらスキー場～



荒天のため1週間延期したスキー教室。2月5日は天候もよく、参加した児童全員がリフトを使って滑走を楽しむことができました。美和町と本郷町の指導者の方や保護者ボランティアの皆さんに指導していただき、初めてスキーを体験する子どもたちも見る見る上達していきました。帰りには、「もっと滑りたい」という声が聞かれました。



【初滑走はドキドキです】



【6年生はすぐに滑り始めました】



【指導にも熱が入ります】